

現状・全体意見

これからの機能

必要な規模

更新方法・立地

あいりん総合センター全体に関すること

【基本の考え方】

- どんな人でも受け入れられる町に
 - ・仕事と子育てが一体に
 - ・仕事を求めて地域にやってくる。仕事がないと来ない
- 前提条件に疑問
 - ・地図上にあいりん地域がない。あいりんの提議があいまい
 - ・そもそも「あいりん地域」とは?
- 地域に役立つ土地利用の話し合いの場を設けてほしい

【耐震性・防災】

- 地域内に避難所が必要
 - 地域の防災は大事
 - 災害時の避難場所も考えないと
- 【地域課題との関係】**
- 1.2丁目に子育て世代を入れるのは難しい
 - シェルターではなく、単身者が入れる住宅
 - 単身者用の安い住宅はいる
 - 三角公園に老人を住まわせてどうする

労働福祉センターに関すること／職安に関すること

社会医療センターに関すること

【基本の考え方】

- 特化型で内実を議論すべき
- 経営出来るような形態に
- 戦略をもつべき
- 民間と社医センの役割分担はどうするのか？

【機能】

- 地域と協力して維持していく
- 民間と社医センの役割分担はどうするのか？
- 無料診療所の継続
- 結核について
 - ・結核対応は必要
 - ・結核の治療には西成は向いていないのでは？郊外でいいのでは？
- 小児科がない。結核イメージとマッチしない
- 特化型で内実を議論すべき。機能を充実すべき
- 経営出来るような形態に
- 戦略をもつべき

- 子育てニーズに今は対応出来ていない
- 小学校跡地に移転したとして、どんな機能を持たせるのか

【どこに更新するか？】

- 社医センと住宅、一緒に萩小へ
- 現状のままの社会医療センターなら住宅と離した方がよい

市営住宅・住まいに関すること

【市営住宅住民の想い】

- 意見を良く聞く
 - ・住宅の事は、住人だけで別会議を
 - ・住人の班長を呼んでは？
 - ・住人の生の声をもっと聞くべき

【基本の考え方】

- 若い世代のイメージは？人それぞれ異なるのでは？
- 家族世帯とは？具体的にどんな人なのか
- 建物の状態（耐震性の問題など早急な対応を）
 - ・明日危ない住宅をどうにかすべき
 - ・人の命を優先にすべき
 - ・駐輪場がない
 - ・地震がきたら大変（エレベーターが傾いている）
 - ・地震のときに自転車が倒れて危ない
- 居住者の状態
 - ・年配層が多い
- 前提に疑問
 - ・あいりん地域内で移転がすでに決まっているのでは？

【機能】

- ファミリー層の住める住宅
 - ・もっと子どもを呼ぶ施策を
 - ・家族向けのマンションへ。転用支援
 - ・家族の住める住宅を供給すべき
 - ・簡宿から家族向け住宅に転用
- 新しい住民の入りやすい住宅
 - ・若い世代を入れてほしい
 - ・単身者より、若い人の入居を
 - ・仕事をさがす少ししんどい人、単身（地域に仕事があるから集まってる）

【規模】

- 住宅は規模を大きく
- 規模を大きくして若い人をたくさん入れてほしい
- 規模を小さく、移転

【更新方法】

- 他の機能との関係
 - ・社医センと住宅と一緒に
- 現地建替えか移転か
 - ・住宅は建替えより移転をしてほしい

【どこに更新するか？】

- あいりん地域“内”で検討
 - ・社医センと住宅、一緒に萩小へ
 - ・空いている公園、運動場など活用を
 - ・歩いて10分以内がいい
 - ・配付地図をあいりんとしたら移転でよいのか？
 - ・手配の人が多く、遠い地区に移転するのは難しい
- あいりん地域“外”も含めて検討
 - ・弘治／今宮／馬渓も選択肢
 - ・あいりん地域（地図）の範囲外も選択肢
 - ・クラブコスメ跡地を候補地に入れるべき

現状・全体意見

これからの機能

必要な規模

更新方法・立地

あいりん総合センター全体に関すること

【基本の考え方】

- 情報が少ないので、議論が進められない
 - ・現状の機能についての情報
 - ・活用できるスペース（土地、建物）についての情報
 - ・地域の各団体、住民の意見
 - ・地域の要望を聞かないと議論できない
- 今ある機能をキチンと捉えてから議論を
 - ・3つ（社医C、住宅、労働福祉C）の枠組みだけでなく、現場でつくられたきた機能も把握
 - ・センターができた70年から機能は大きく変化している
 - ・居場所や現場での支援などの機能も再確認
 - ・それぞれの機能を保つメリット、変えるメリットを確認
 - ・これまでの機能を踏まえ、これらの機能として必要なスペースを検討
 - ・新たにつくる必要のある機能は何か検討を
 - ・新しい人が入ってくるのに必要な機能は何か
 - ・機能の議論の順序として、①住宅②社医C③労働福祉C
 - ・それぞれの機能にどのようなスペースが必要か？面積、空間、使い方
 - ・規模と場所についてに、議論も必要
- 居場所としての機能
 - ・地域住民、日雇労働者、野宿生活者などの居場所としての機能の再確認
 - ・サポートハウス入居者（800人、生保者1割）の居場所も考える
- 地域として発展していくように

【公園】

- お祭りやコンサートなどで使うのは面白い
- それぞれの公園にはそれぞれの機能がある。
ただし、一般的な公園としては機能していない部分もある
- 単なる空地ではないので、拙速に他の機能を再配置するのはよくない

労働福祉センターに関すること／職安に関すること

【社会背景】

- あいりん総合センターができた当時は簡宿が多くあったので、労働者のまちとして地域住民も納得できた
- いまは、簡宿も減り、労働者も減ってきてている
- 地域住民の合意は難しい

【機能】

- 労働福祉Cが教育に悪いとは思わない
- 若者の就労支援はどこに？

【新しい機能など】

- 複合機能
 - ・住宅+医療+文化施設
- 広場としての機能も加える
- 防災の機能も加える
- 避難所としての機能を加える

【どこに更新するか？】

- 考えられる場所
 - ・今ある広いスペースとしての運動場の空間利用
 - ・公園が使えない
 - ・現あいりん総合センター一帯を南側に圧縮して北側に駅前としてのスペースをつくるのはどうか
 - ・南海の西側は教育エリア、東側は労働エリアとして配置してはどうか
- 活用できそうなスペース
 - ・市更相
 - ・東田保育所
 - ・萩之茶屋小学校の運動場
 - ・シェルター計画地（三徳寮東隣）
 - ・公園
 - ・南職安
 - ・その他、大阪市関連の土地は？
- 残したい場所
 - ・萩之森は残したい

社会医療センターに関すること

【これから機能】

- 都市の発展には、寄り場は必要

【機能】

- 総合病院として複合的な医療を
- 小児科もなければ、地域にファミリー層は来ない
- アルコール課題についても治療できる精神科を
- 志のある医師が継続的に（長期に）勤務できるように

【更新方法】

- 他の機能との関係
 - ・下に店舗、上に住宅

市営住宅・住まいに関すること

【機能】

- 新しい住民の入りやすい住宅
 - ・新しい世代を呼び込む住宅に

【規模】

- 高層住宅をつくる

【どこに更新するか？】

- あいりん地域“内”で検討
 - ・萩之茶屋小学校の跡地に？